

| 出題分析 | | |
|--|----------|--|
| 試験時間 60 分 | 配点 100 点 | 大問数 4 題 |
| 分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加] | | 難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化] |
| <p>【概評】</p> <p>例年通り、全 50 問が選択問題。大問 4 題構成のうち、〔Ⅰ〕・〔Ⅱ〕・〔Ⅳ〕は語群選択式、〔Ⅲ〕は三者択一式であった。〔Ⅰ〕では原始～鎌倉時代の文化、〔Ⅱ〕ではA江戸時代～1905 年の日露関係、B 第二次世界大戦～戦後の外交、〔Ⅲ〕では 5 つの史料から中世～近世の政治・社会、〔Ⅳ〕では古代～近世の文化について出題され、定番の適切な時期を選択する問題も出題された。過去に出題されることの多かった地点を選ぶ地図問題は、昨年の同日程に引き続き出題されなかった。文化史の割合が半分以上を占めており、中世からの出題が多く近現代からの出題が少なかった。全体として基礎的な事項を問う問題が大部分を占めており、例年通りいかに失点を抑え、高得点を獲得するかがポイントとなる。難易度は昨年並みであった。</p> | | |

| 設問別講評 | | | |
|-------|--------------------------------------|---|-----|
| 問題 | 出題分野・テーマ | 設問内容・解答のポイント | 難易度 |
| 〔Ⅰ〕 | 原始～鎌倉時代の文化 | 基礎的事項がほとんどであった。得点差がつきにくいため、ミスしないよう慎重に解答したい。 (2). 難。「東日本」「死者の骨」を手がかりにできるか。(3). 「岡山県倉敷市の」から四隅突出型墳丘墓ではない。(7). 教王護国寺は、羅城門の東側に官寺として建立された東寺のこと。(8). (9). (10). しっかり区別して覚えておきたい。(10)の俊苧はやや細かい知識である。 | 標準 |
| 〔Ⅱ〕 | A江戸時代～1905 年の日露関係 B 第二次世界大戦～戦後の外交 | 一部細かい知識も問われたが、語群選択式であるため、答えやすい。(3). やや細かい知識であるが「東京帝国大学などの七博士」から連想できるか。(9). やや細かい知識であるが、語群からであれば絞り込めるか。 | 標準 |

| 設問別講評 | | | |
|-------|-------------|---|-----|
| 〔Ⅲ〕 | 中世～近世の政治・社会 | <p>A『東寺百合文書』より永仁の徳政令, B『建武記』より二条河原落書, C『薩戒記』より播磨の土一揆, D『離宮八幡宮文書』より座の発達, E『西福寺文書』より丈量の統一について出題された。昨年に引き続き, 中世に関する頻出史料が中心で, 基礎的な知識が求められた。</p> <p>問 1. 20 がわかっていても廿を選べたか。問 2. やや難。ア: 強訴の説明, イ: 江戸時代の越訴の説明。問 4. 七五調となっており韻律に合うものを選べばよい。問 8. この事件は嘉吉の変(乱)。問 9. 史料自体は目にしたことがあっても、『薩戒記』を選ぶのは難しかったかもしれない。問 12. この反乱は応永の乱。問 14. 難。現在の一升が 1.8 リットルであることを知っていれば解答可能か。問 15. 五奉行は, 浅野長政・増田長盛・石田三成・前田玄以・長束正家。</p> | 標準 |
| 〔Ⅳ〕 | 古代～近世の文化 | <p>適切な時期を選ぶ問題では, 消去法も用いて解答したい。①平等院造営は 1052 年, ②法然・親鸞が流罪に処せられたのは 1207 年, ③石山合戦終結は 1580 年, ④『古今和歌集』編纂に着手したのは 905 年, ⑤『応安新式』が制定されたのは 1372 年。</p> | やや易 |

合格のための学習法

設問のほとんどが, 教科書や図説資料集に掲載されている内容で構成されている。全て選択問題で三者択一式も多いため, できる限り失点しないようにしたい。今年も一昨年・昨年に続いて原始時代からの出題はなかったが, 原始から現代まで偏りのない基本的な学習を徹底しよう。文化史が頻出であるため, 図説資料集を活用して学習を進めるのがよいだろう。史料問題対策としては, 基本的な頻出史料に目を通して内容を把握しておくことと入試本番で慌てなくてよい。時代の特定を求められる問題の対策としては, 年号を一つ一つ覚えるのではなく, 一つの出来事と年号について前後関係を関連付けて覚えてほしい。